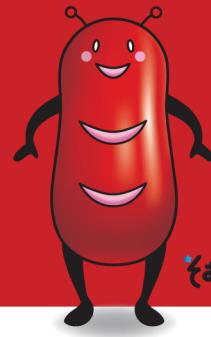


市長あいさつ　ー市民の皆さんへー

防災に備える。命を守る。



お星人



曾於市長 五位塚 剛
ごいつか つよし

近年の異常気象により、台風や大雨などの自然災害が毎年のように発生し、全国各地で大きな被害をもたらしており、本市でも土砂崩れなどの被害が発生しております。

また、今後30年以内に70%程度の確立で発生すると言われている南海トラフ巨大地震についても、平成26年に鹿児島県がまとめた「鹿児島県地震等災害被害予測調査(報告書概要版)」によると、南海トラフ巨大地震の被害想定結果(最大ケース)では、曾於市の大部分で震度5強、一部の地域では震度6弱から6強の最大震度が予想され、2,000棟を超える建物の全・半壊、数十名の負傷者が出るとの想定がされております。

本市では、「第2次曾於市総合振興計画」に基づき、地域防災の中核となる「消防団」や「自主防災組織」の充実・強化を図っております。また、土砂災害が発生しやすい「急傾斜地崩壊危険個所」に対する「急傾斜地崩壊対策事業」や、森林の持つ多面的機能を最大限發揮するため、国・県補助事業や「曾於市単独間伐及び再造林促進対策事業」による間伐・再造林の促進、倒壊する危険のある廃屋を解体撤去するための「危険廃屋解体撤去補助事業」など、様々な事業に取り組んでおりますが、それだけでは災害を防ぎきることはできません。

そこで、市民の皆様一人一人が「自分たちでできることは何なのか」ということを考えていただく一助とするため、この「防災ガイドブック」と「防災マップ」を作成しました。市民の皆様が普段から何をすべきか、災害が発生したときどうするべきか、ということを分かりやすく掲載しています。

この「防災ガイドブック」と「防災マップ」により、自分が住んでいる場所や、近くにある避難場所、避難経路にある土砂災害警戒区域などの危険な場所がどこにあるのかなどを御確認いただき、実際に現地を見ていただけると避難する際、大変役立つものと思っております。

最後に、市民の皆様が安心して生活を送ることができるよう切に願っております。